

2018年8月23日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

腹膜透析患者におけるプロトンポンプ阻害薬の使用と血清マグネシウム値：後ろ向きコホート研究

2. 研究責任者

海南病院薬剤部 鈴木 大介

3. 研究の概要

当院にて腹膜透析を行っている患者さんで血清マグネシウム値を測定している患者さんを対象に低マグネシウム血症（マグネシウム値が 2.0mg/dL 未満）となる因子を調査する。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

当院にて腹膜透析を行っている患者さんで過去1年間（2017年7月より2018年7月まで）において血清マグネシウム値を測定している患者さん

②使用する試料等

カルテ情報：2017年7月以降のカルテ情報より年齢、性別、腹膜透析歴、既往症、使用薬剤、検査値（マグネシウム値、ナトリウム値、カリウム値、カルシウム値、リン値、血清クレアチニン値、ヘモグロビン値、尿素窒素値、アルブミン値、アルカリフォスファターゼ値、i-PTH 値）

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 薬剤部 鈴木 大介
電話：0567-65-2511（代表）